

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

冬のテーマ番組「見えない宇宙に挑む」の投影がはじまりました

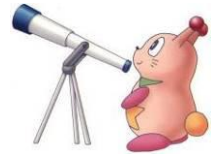
目で見えない宇宙とはどんな世界なのでしょうか？科学の力によって垣間見ることができる宇宙を紹介する冬のテーマ番組「見えない宇宙に挑む」をごらんください。投影は2月19日までです。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員25名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。

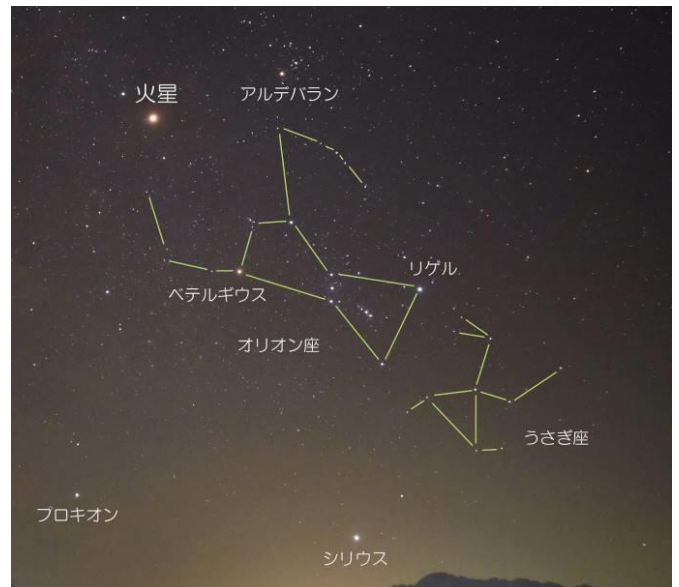
寒い時期なので温かくしてお越しください。



1月の注目天体情報

☆令和5年の干支ウサギの星座を見つけよう

令和5年は、ウサギ年です。12ある干支の中で星座にもその名前があるものがあり、ウサギの星座も存在します。今年の干支にもなっている「うさぎ座」を見つけてみてください。冬の代表星座オリオン座の足元にあるので、比較的探しやすい星座です。明るい星はありませんが、オリオン座の下(南)に、ひっそりとした星の並びがあります。



☆星座の中を移動する火星に注目

12月1日に地球に接近した火星は、冬の星座おうし座の角のあたりにいます。火星は太陽系の惑星の一つです。惑星は星空の中を移動していくので星座の星ではありません。木星や土星も惑星ですが、星空の中を移動していくのは割とゆっくりしています。いっぽう火星は星空を早く移動していきます。1月はほとんど動きませんが、2月からはどんどん東に向かって移動していきます。1月に火星と星座の星の位置を覚えておき、2月からは星空の中を移動していく火星に注目してみましょう。

